

2023年2月20日(改訂)

## 豊中市立ローズ文化ホールにおける 新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン

豊中市立ローズ文化ホール

### 1 はじめに

本ガイドラインは、公益財団法人全国公立文化施設協会による「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」(令和4年9月20日更新)、大阪府による「感染拡大予防にかかる標準的対策【劇場等(劇場・映画館・演芸場)、貸会議室】」などの内容を踏まえ、豊中市立ローズ文化ホールにおける新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を様々な視点からまとめたものです。本ガイドラインは、今後の感染の動向や新たな知見に伴い、必要に応じて改訂するものとします。

### 2 感染防止のための基本的な考え方

施設の特性や公演の規模等を十分に踏まえ、施設内及びその周辺において、当該施設の管理・運営に従事する者、公演を鑑賞等するために施設に来場する者、出演者及び公演の開催に携わるスタッフへの新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、必要となる負担を考慮に入れながらも最大限の対策を講じ対応していく必要があり、施設内や公演後に感染者が確認された場合等も想定し対応を行なうこととします。



### 3 主催者が講じる具体的対策

本ガイドラインを基に感染拡大防止のために必要な対策を遵守いただくとともに、主催者の責任において、適切に対応していただきますようお願いいたします。また、主催者が必要である措置を講じていないと認められるときは、施設管理者として主催者に対して、適切な対応をしていただくようお願いしております。

#### 1) 公演前の対策

公演の実施にあたり、密集を回避する方策や「密」の状況を発生させない工夫の検討をしてください。

- ①換気の悪い「密閉空間」多くの人が集まる「密集場所」近距離での会話や発声をする「密接場所」という3つの条件を発生させない環境の工夫をする。
- ②体調不良などの症状がみられる来場者は入場を控えていただくよう呼びかけ、高齢者や基礎疾患のある方はできるだけ慎重に検討する。
- ③搬入・仕込み・リハーサル・来場者の入退場・休憩・撤収・搬出には十分な時間を取り、公演時間を設定する。
- ④感染リスクが高まるような演出を行わないよう周知する。
- ⑤主催者及び公演関係者は表現形態に応じて感染防止に努める。
- ⑥感染リスクを最小限にするため、スタッフの人数は最小限にとどめる。
- ⑦利用日において指定する定員数内での公演を企画する(利用内容および感染状況により、最大下記のような定員制限の場合あり。)

- |                             |   |                         |
|-----------------------------|---|-------------------------|
| ○ホール 劇場型                    | 336人(168人)                                | ※補助席の利用については別途ご相談いたします。 |
| ○フラット利用                     | 多目的利用が可能のため、利用内容及び舞台迫りの利用状況により、定員数は異なります。 |                         |
| ○会議室                        | 14人(7人)                                   |                         |
| ※( )内は感染状況による人数制限強化の場合の定員数。 |   |                         |

※公演内容・コロナ対策等について滞りなく円滑に行なうため、事前に主催者と舞台・貸館スタッフでの打合せを行なうこと。

- ⑧イベント開催時には、大阪府の様式による「感染防止策チェックリスト」を作成し、HP・SNS等で公表もしくは当日会場に掲示し、終了日より1年間保管する。
- ⑨フラット仕様での飲食を伴う利用は当面の間行わない。

## 2) 公演当日の来場者への対策

- ①マスクの着用を徹底し、咳エチケットの実践を周知徹底する。
- ②各自来場前の検温を要請し、風邪などの症状が見られる方その他体調不良の方の入場を制限する。
- ③入退場時は、人と人との距離を1m～2m確保するよう、係員が適切に誘導する。
- ④入退場時は、「密」なることを最小限にするため、それに見合った係員を配置する。
- ⑤来場者の激しい動きとなるものは制限する。
- ⑥参加料等の金銭の授受は、トレーにて受け渡しを推奨、パンフレットやチラシ等については感染対策を行ったうえで、設置箇所を設ける。
- ⑦対面販売(当日券や物品販売)を行なうときは、飛沫感染対策を実施する。
- ⑧会場内に消毒液を設置し、来場者の手指の消毒、せっけんによる手洗いを徹底する。
- ⑨係員を配置し、ホワイエで「密」にならないよう注意喚起する。また、集合写真やイベント撮影等については、感染対策をしっかり取ったうえで速やかに行なうこと。
- ⑩休憩時間を多めに取り、ホワイエ・ロビー・楽屋は密閉空間にならないよう十分な換気を取る。

※事務所にて下記の備品貸し出しを行なっています。

- ・非接触型体温計(最大3台まで)・スタンド式非接触型体温計(ホワイエ常設)
- ・受付用飛沫感染防止シート(最大2台まで)※固定用机は有料



※サイズ W1900mm × H1830mm  
(内ビニール箇所上部 1000mm)



使用例

### 3) 出演者・スタッフの感染防止対策

#### ■日常生活の対策■

本ガイドラインを踏まえ、公演開催に向け日常生活において出演者・スタッフなどの感染防止対策として以下の内容を推奨しております。

- ①マスクを着用し、咳エチケットの実践。
- ②手指をこまめに消毒する、せっけん等による手洗いの励行の実施。
- ③日々十分な睡眠を取り、水分補給をはじめ体調管理に努める。
- ④リハーサル・公演本番日開始までの1週間の間に、次のいずれかの症状がある出演者・スタッフは医師または関係機関に相談し、その判断に基づいたうえで、主催者は出演および参加の可否を決定する。
  - ・咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁、鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節、筋肉痛、下痢、嘔気、嘔吐の症状があった。
  - ・新型コロナウイルス感染者と濃厚接触があった。

#### ■公演当日の会場入りの際の対策■

出演者・スタッフは、公演当日およびリハーサル等で会場入りする際は、次のような対策を徹底してください。

- ①会場入りの前に自宅で検温し、咳などの症状が見られる場合、その他体調不良の場合は出演・参加を控える。
- ②手洗い、手指の消毒を行なう。
- ③マスクの着用、咳エチケットの実践を周知徹底する。
- ④控室、楽屋ではできるだけお互いに距離を保つこと。

#### ■公演形態における対策■

クラシック音楽の場合、次のような対策を推奨します。

▲鍵盤楽器、管弦打楽器（ソロやデュオ～室内楽、吹奏楽、オーケストラも含む）

- ①舞台上に多くの演奏者が出演するオーケストラ、吹奏楽などの場合は、各奏者の間は十

十分な距離を保持し、特に管楽器奏者間の距離、管楽器群と弦楽器群の間などでは十分な距離が確保できるように配慮する。

②管楽器の水抜きには十分な感染防止対策を行なう。

### ■リハーサル、公演時の舞台上での対策■

舞台上では接触を抑制する観点から、次のような行動に努めてください。

- ①リハーサル中、演奏者は可能な範囲で、スタッフは原則マスクを着用し咳エチケットも実践すること。会話が必要なときは十分な距離を保ち、同等の効果を有する対策を取る。
- ②搬入・仕込み・リハーサル・撤収・搬出については十分な時間を設定し、感染対策を講じる。
- ③ピアノやマイク等の備品を使用するときは、使用の前後には手指の消毒を行なう。

### ■舞台裏・控室・楽屋での対策■

舞台裏・控室・楽屋などの利用については定期的な換気を心がけ、接触を抑制する観点から次のような行動に努めてください。

- ①同時に多くの人々が同一の場所を利用することがないように、利用に際して時間差を取るなどの対応を行ない「密」になることを避ける。
- ②消毒液を設置する。
- ③舞台裏・控室・楽屋ではマスクを着用する。
- ④食事をする場合の対応スタッフは、事前に手洗い・検温・マスクと手袋の着用・手指の消毒を行なう。
- ⑤控室や楽屋で飲食するときは、距離を保ち真正面の配置を避ける。
- ⑥食事の提供方式としては、弁当としての提供とする。また食事時の会話は控え、使い捨て用の紙皿や紙コップを使用し、使用後はビニール袋にまとめ入れ口をしっかりとしばり速やかに処理する。ゴミは主催者側で持ち帰ること。

○楽屋① 10人(5人) ○楽屋② 10人(5人) 楽屋③ 2人(1人)

※ ( ) 内は感染状況による人数制限強化の場合の定員数。

### ■出演者・スタッフに感染が疑われる人が出たときの対策■

公演中またはリハーサル中に感染が疑われる人が出た場合は以下のとおり、適切な対応をお願いします。

- ①速やかに医療機関・施設管理者に連絡し指示に従う。
- ②対応するスタッフは、マスクや手袋を着用のうえ対応する。

## ■公演終了後の対策■

- ①集合写真やイベント撮影等については、「密」を最小限にするなど、感染対策をしっかり取ったうえで、速やかに行なう。
- ②来場者と接触するような行動は極力控える。
- ③舞台裏・控室・楽屋には長時間の滞在は避け、速やかに着替えを済ませ、換気の良い場所へ移動する。
- ④ 当館での公演後の関係者による打ち上げは当面は行わない。

## 4 施設管理者が講じる具体的対策

### 1) 従事者に関する感染防止策

- ①マスク着用や手指の消毒徹底
- ②次のいずれかの事例がある場合は出勤を控える。
  - ・ 37.5 度以上の発熱
  - ・ 咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁、鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気、嘔吐の症状があった。
  - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触があった。

### 2) 施設や備品等の除菌対策

- ①マイク・譜面台・ピアノ鍵盤等の消毒

### 3) その他の感染防止対策

- ①ホール入口にアルコール消毒液・ホワイエに自動検温器の設置。
- ③高機能の空調設備により、定期的な換気を実施。
- ④受付窓口に飛沫防止のためのアクリル板を設置。
- ⑤感染防止対策についての要請事項を各ブースに掲示。
- ⑥受付窓口では現金の取扱いを可能な限り減らし、キャッシュレスを推奨。

## ◆インフォメーション◆

### ○豊中市新型コロナウイルス感染症コールセンター

06-7177-9538(24時間土日祝対応)※2022.7/1より変更

・平日の9:00~17:15まではFAX 06-6152-7328

その他新型コロナウイルス関連コールセンター問合せ先はこちら→

